

市長の思う「平成29年 豊川市の10大ニュース」

(時系列)

- ① **豊川稲荷の正月三が日の参拝客約145万人。過去10年間で最多**
(1月1・2・3日)
初詣に豊川稲荷を訪れた人が、元日50万人、二日55万人、三日40万人。正月三が日で計145万人は過去10年間で最多となった。
- ② **資源化施設が完成 (3月21日)**
長草町で豊川市資源化施設が完成し、3月21日に完工式が行われた。
- ③ **「豊川市立地適正化計画」を策定、「まちなか居住補助金制度」開始**
(4月1日)
人口減少・少子高齢化が進むことが予想される中、コンパクトシティを推進するため、平成29年2月に豊川市立地適正化計画を策定し、4月からまちなか居住補助金制度(豊川市拠点地区定住促進事業費補助金)を開始した。
- ④ **市民のスクエアがリニューアルオープン (4月1日)**
市田町の赤塚山公園にある多目的広場「市民のスクエア」がリニューアルオープンした。人工芝の公営グラウンドは東三河初。
- ⑤ **2人目の副市長に田中氏が就任 (4月1日)**
副市長2人制の2人目の副市長に、田中義章氏が就任した。
- ⑥ **防災ドローン航空隊発足 (4月10日)**
無人航空機(ドローン)を活用し、災害時の情報収集にあたる豊川市防災ドローン航空隊が発足した。
- ⑦ **ワンコインがん検診開始 (5月1日)**
各種がん検診を1検査1項目につき一律500円で受けられるワンコインがん検診を開始した。

⑧ 青い目の人形と答礼人形 里帰り展を開催（7月19日）

1927年にアメリカから友情の証として贈られた「青い目の人形」と、「ミス愛知」など日本からの答礼人形20体を集めた「青い目の人形と答礼人形 里帰り展」が桜ヶ丘ミュージアムで開催された。ミス愛知は初の里帰りとなった。

⑨ 豊川市ゆかりの選手らがスポーツで活躍

- ・日本選手権水泳競技大会で今井月選手が2位入賞し、世界選手権代表入り（4月15日）
- ・全国高校総体競泳で今井月選手が3冠達成（8月20日）
- ・サッカーU17ワールドカップ日本代表に菅原由勢選手（9月22日）
- ・第68回全国高校駅伝愛知県予選会で豊川高校駅伝部男子が優勝（11月5日）

⑩ 平和公園（仮）の開園に向けて

12月議会に平和公園（仮）の管理に関する条例を上程。公園の正式名称を豊川市豊川海軍工廠平和公園に、開園を来年6月9日に予定。すでに、5月11日より公園で活動する語り継ぎボランティアの養成を始めている。11月22日には、豊川宝飯ロータリークラブが公園敷地内にソメイヨシノを植樹するなど、準備が進んでいる。